

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
音楽表現Ⅱ Musical Expression II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程選択)	児童フィールド
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
音楽表現Ⅰ、ピアノ演奏法Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程（幼稚園教諭二種）、保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
岡泉志のぶ	講義棟3階	月・水・木・金		授業中に指示します
授業の概要				
子どもにとって遊びは心身の発達に欠かせないものであり、遊びを表現活動に繋げて音楽的に展開するためには、保育者の音楽的な能力が必要となってくる。この授業では、「音楽表現Ⅰ」で習得した音楽の基礎的な知識や技術に基づいて乳幼児の音楽的成長と発達を、子どもの音楽的な遊びに必要な知識と技術を身につける。更に、音楽的な表現活動に関わる指導法と総合的な表現活動へ展開できる保育技術の習得を図る。				
授業の目標				
①簡単な拍子でリズム打ちとリトミックの体験を通して、音楽の楽しさを表現することができるようにする。 ②歌唱や打楽器、鍵盤ハーモニカの奏法と指導法を学び、適切な方法でうたや楽器を指導することができるようにする。 ③子どもの音楽的成長を把握し、年齢に適した楽器やうたを用いて音楽的な表現活動に応用することができるようにする。 ④日常の保育やお遊戯会、運動会での鼓笛や合奏の指導で、楽器編成や曲の構成を考案することができるようにする。				
授業の方法				
演習形式であり、実際に動いたり歌ったりして実践的に授業を行う。発表では、音楽的な表現活動の指導計画案を各自が作成し、どのように指導していくのか、またどのような援助が必要なのかを考察し、弾き歌いの実践を含めた表現活動のための保育技術を習得する。				
学習の成果（学習成果）				
子どもたちと一緒に音楽リズムやリトミックの楽しさを表現することができ、実際の保育現場において、様々な場面に適した表現活動への展開、及び具体的に音楽的な指導をすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション：授業概要、評価方法の説明、受講する際の注意点			
第2回目	音楽リズム表現① 音符と休符、リズム打ち			
第3回目	音楽リズム表現② 単純リズムと複合リズム			
第4回目	音楽リズム表現③ 総合的な音楽リズム			
第5回目	乳幼児の音楽表現－指導ポイント①－ リズム打ちの指導法			
第6回目	乳幼児の音楽表現－指導ポイント②－ 歌唱表現の指導法			

第7回目	乳幼児の音楽表現－指導ポイント③－ リトミック指導法	
第8回目	季節別の教材と指導法① 日常や行事での音楽活動での指導法（教材の選定、ねらい、留意点）	
第9回目	季節別の教材と指導法② 日常や行事での音楽活動での指導法（楽器編成、曲の構成）	
第10回目	音楽リズムを用いた創作表現活動① 選曲と年齢に応じた指導について	
第11回目	音楽リズムを用いた創作表現活動② 総合的なリズム表現について	
第12回目	子どもの音楽的表現活動について-教材選定-①	
第13回目	子どもの音楽的表現活動について-指導法-②	
第14回目	音楽的な表現活動の展開①（担当教員からの講評と指導を含む）	
第15回目	音楽的な表現活動の展開②（担当教員からの講評と指導を含む）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	学習意欲を持って授業に参加し、常に音楽を感じて表現活動ができている。
レポート	10%	指導計画案をきちんと提出日に提出している。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	指導計画に沿った音楽活動の展開を、子どもたちに適切に指導できるように発表できている。
その他	20%	指導計画案の内容による評価。子どもの年齢に応じた音楽的配慮と留意点を用いて作成されている。
教科書と参考図書		
テキスト：幼児のための音楽教育（教育芸術社）		
履修上の留意点・ルール		
授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用、飲食は禁止とし、MR I（音楽室）、保育ルームは土足厳禁である。指導計画案は課題として授業第10回目に提出することとし、提出内容、期限等は必ず守ること。課題として（特にピアノ初心者の学生）は、譜読みを必要とする。（授業第5、6、7回）		